

テーマ：『沿岸域の自然再生は可能か？』

自然再生推進法が平成15年1月1日から施行されました。大都市圏に面する「海」は重要な都市環境インフラであるとの認識の下、「海の再生」を都市再生プロジェクトと位置づけ、東京湾再生プロジェクトが昨年2月から先行的に動き出しています。大阪湾においても大阪湾再生プロジェクト推進会議の設立準備が整いつつあります。

「自然再生」という言葉、「過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻す」目的、さらに「関係行政機関、関係地方公共団体、地域住民、特定非営利活動法人、専門的知識を有する者等の地域の多様な主体が参加する」仕組みなど、これまでの政策と異なった画期的な内容が盛り込まれ、環境の世紀の新たな政策にふさわしいものとして期待されます。しかしながら、「自然環境を保全し、再生し、もしくは創出し、またはその状態を維持管理する」という自然再生事業の定義について改めて考えてみると、法を受けた施策がスタートし、効果を上げるまでにはまだまだ解決しなければならない課題が残されているのではないかと感じるのが現状です。

大阪湾に限定して考えれば、全海岸線の95%が人工構造物に被われており、“再生すべき自然環境”の意味するところは何か、しばしば言われる“自然と共生する”の意味とは何か。さらに、失われた自然を再生することは、今まで創造してきた人工構造物の上に“自然に似た人工物”を再構築することになりはしないか？このような素朴な問いかけに明解な回答を用意できない限り、環境に名を借りた公共事業の推進であるという批判を免れないともいえるでしょう。さらに、自然再生を事業として興すためには、行政と住民が共通する環境再生目標を明確に共有することができない限り、事業への合意形成は難しいともいえます。

生態系工学研究会は長年にわたって、大阪湾をフィールドとして研究活動を実施してきました。昨年の第21回シンポジウム「残された沿岸域の環境問題と自然再生のあり方」においても、自然再生をとりあげ活発な議論がなされました。その結果、「瀕死状態？の大阪湾においても、自然を蘇らせるポテンシャルは生態系のなかに潜在的に存在し、それを引き出すための政策が望まれる」ことが共通認識されました。まだ間に合うのです。そのためには科学的知見に基づいた環境政策の履行が必須です。また、研究者への期待の増大とともに、研究者の責務も重くなったことを認識すべきでしょう。

第21回シンポジウムのフロアからの貴重な意見は研究会にとっても新鮮な切り口を提供してくれました。今年度は少し冒険を企てました。今回の第22回シンポジウムでは、自然再生推進法をとりあげ、法案の施策である自然再生事業に関わられる方々から話題提供をいただき、シンポジウムへの参加者の皆さんとともに大阪湾の自然再生について考えたいと思います。

その結果を踏まえて、本年10月に第23回シンポジウムを開催します。そこでは、生態系工学研究会の会員から、科学的根拠に基づいた大阪湾再生の考え方を提案させていただき、参加者の方々と活発な議論を行い、大阪湾における自然再生のあり方に関して方向性を提示できればと考えております。

生態系工学研究会 第22回 シンポジウム プログラム

テ - マ 沿岸域の自然再生は可能か？

主 催 生態系工学研究会

日 時 2003年6月28日(土)10時00分～17時00分(懇談会 17時20分～19時00分)

場 所 大阪市立大学 杉本キャンパス内
学術情報総合センター10F 会議室
大阪市住吉区杉本 3-3-138 .06-6605-3345(当日のみ)

プログラム 総合司会

中辻 啓二
(大阪大学:本会会員・実行委員長)

10:00～10:05 1. 開会挨拶

菊池 泰二
(九州大学名誉教授:本会会長)

10:05～11:00 2. 基調講演

自然再生推進法がめざすもの

小野寺 浩
(環境省大臣官房審議官)

11:05～12:00 3. 基調講演

自然再生を考える

中瀬 勲
(兵庫県立人と自然の博物館 副館長)

12:00～13:00

休憩(昼食)

13:05～14:00 4. 基調講演

沿岸域における自然再生

林田 博
(国土交通省港湾局環境整備計画室長)

14:00～15:00 5. 話題提供

(1) 大阪湾の再生

村井 保徳(大阪府環境農林水産部副理事)

(2) 漁業からみた大阪湾の再生

森 政次(大阪府環境農林水産部水産課課長補佐)

(3) 大阪湾の環境の変遷と現況

中辻 啓二(大阪大学:本会会員)

15:00～15:15

休憩(15分間)

15:15～16:55 6. 総合討論

テ - マ : 沿岸域の自然再生は可能か？

コーディネーター : 上嶋 英機(独立行政法人産業技術総合研究所:本会副幹事長)

パネリスト : 小野寺 浩・林田 博・村井 保徳・森 政次

植木 久一(「あまがさき環境塾・タンポポ」会長)

16:55～17:00 7. 閉会挨拶

小田 一紀
(大阪市立大学:本会幹事長)

17:20～19:00 懇談会